

中医鍼灸セミナー

2025/07/27（日） 上海中医薬大学附属日本校 陳 雷

一、処方配穴

（一）配穴とは

1. 定義 治療方針及び腧穴の効用特徴に基づいて、腧穴（ツボ）を選択し、組み合わせることです。
2. 治療方針 ①臓腑気血の調整 ②陰陽平衡の調整（寒熱の整え） ③扶正祛邪（補虚瀉実）
3. 腧穴の効用特徴 ①近所治療（腧穴の周辺に現れる病症の治療効用）
②遠所治療（腧穴に遠く離れる場所に現れる病症の治療効用）
③特別治療（特定の病症の治療効用）
4. 応用 ①診察 皮毛の疾患（皮膚病）
②治療 ●鍼灸療法 ●推拿療法（膏摩）●火罐療法 ●刮痧療法
●敷貼療法 ●薬浴療法・薬燻療法

（二）配穴の選穴原則

1. 定義 選穴とは、取穴とも言い、腧穴を効用特徴に基づいて選ぶことです。
2. 選穴の四原則
①近所選穴 患部や病気にかかわる臓腑に近い腧穴を取って治療を行うことです。
②遠隔選穴 患部や病気にかかわる臓腑に遠く離れる腧穴を取って治療を行うことです。
③対症選穴 現れる症状に対して特定効用を持つ腧穴を取って治療を行うことです。
④弁証選穴 弁証の結果に基づいて相応する腧穴を取って治療を行うことです。

（三）配穴の種類

1. 経脈配穴
①本経配穴法 同じの経脈上の腧穴を組み合わせる配穴法です。
②表裏経配穴法 表裏関係になる経脈上の腧穴を組み合わせる配穴法です。
③同名経配穴法 同様とする陰陽名称の経脈上の腧穴を組み合わせる配穴法です。
2. 部位配穴
①上下配穴法 体の上半身（上肢）と下半身（下肢）にある腧穴を組み合わせる配穴方法です。
②前後配穴法 主に体幹部の前側と後側にある腧穴を組み合わせる配穴方法です。
③左右配穴法 体の左側と右側にある同名の腧穴を組み合わせる配穴方法です。

(一) 得氣

- ## (二) 催気法

- ### (三) 補瀉法

1. 定義 扶正祛邪の治療方針を実施するための鍼の刺し方です。
補法：不足になる正気を補う方法。 瀉法：邪気或いは病理物質を取り除く方法。
2. 伝統補瀉法 迎随法 徐疾法 捻転法 提挿法 留鍼法 呼吸法
開閉法 九六法 揺擺法 盤旋法 など

三、腹痛症の改善における鍼灸療法の弁証論治

(一) 概論

1. 定義 みぞおち所から恥骨までの腹部に生じる疼痛の病症である。
2. 腹痛がある現代医学病症
3. 腹痛症の分類
 - ①内臓痛（臓器の疼痛）②体性痛（腹膜、腸膜の疼痛）③関連痛（原発部でない疼痛）

(二) 中医弁証

1. 症状 ●腹部に疼痛感を生じる。
●随伴：吐き気・嘔吐・食欲不振・排尿異常・排便異常、生理不順、精神状態の異常
2. 診察 ①望診 ②按診（声） ③問診 ④脈診、舌診
3. 弁証
 - ①病勢緩急の弁別 痛症と病勢
 - ②病因の確定 寒邪侵襲・飲食不調・情志刺激・過労・加齢・久病・手術打撲寄生虫など
 - ③正邪盛衰の確定 実証・虚証
 - ④病位の確定 表証・裏証
 - ④病性の弁別 熱証・寒証

※弁証のまとめ

虚：脾腎陽虚 実：寒邪内阻・熱壅・湿阻・血瘀・気滞・食積

(三) 鍼灸治療

1. 治療原則 ●急則治標—緩急止痛
●緩則治本—扶正祛邪
 - 寒積→散寒 ●熱蘊→清熱 ●気滞→理気 ●湿阻→利湿
 - 血瘀→活血化瘀 ●脾腎陽虚→脾腎補益
2. 経絡腧穴処方 ①経脈処方 任脈 督脈 腎経 胃経 脾経 肝経
胃経 膀胱経 胆経 心包経
②腧穴処方 ●基本配穴（選穴）
足三里 三陰交 陽陵泉 合谷 内関 神関 中脘 気海
中脘
●弁証取穴
〔寒凝〕 中脘 梁門 脾俞 胃俞
〔熱証〕 曲池 内庭 丘墟
〔痰阻〕 中脘 天枢 足三里 豊隆 脾俞 胃俞

〔気滞〕 期門 章門 太衝 行間

〔湿阻〕 陰陵泉 豊隆 脾俞 胃俞

〔食積〕 脾俞 胃俞 中脘 上巨虚 下巨虚 内

〔血瘀〕 压痛点 膈俞 血海

〔陽虚〕 氣海 関元 太白 太谿 腎俞 命門

3. 鍼灸方法 ●鍼刺法 直刺法 浅刺法 留鍼 瀉血法

●灸法 棒灸・隔物灸・温鍼灸

●拔罐法（吸い玉） 定/移罐法

4. 施療 1. 体位：臥位

2. 補瀉： ●腧穴 補：氣血臟腑の腧穴 瀉：祛邪の腧穴

●技法 鍼刺法——提挿捻転 瀉血法

お灸法・拔罐法